戸山77期生通信　第６号

2022.9.8 創刊

8/29(月）から２学期が始まりました。新学期の様子は次号に持ち越すとして、今回は夏季休業中の１年生の体験活動の様子を皆様と共有させていただきます。参加生徒の感想と合わせてご覧ください。

～国際メンタリングワークショップ Joshikai in Fukushima～

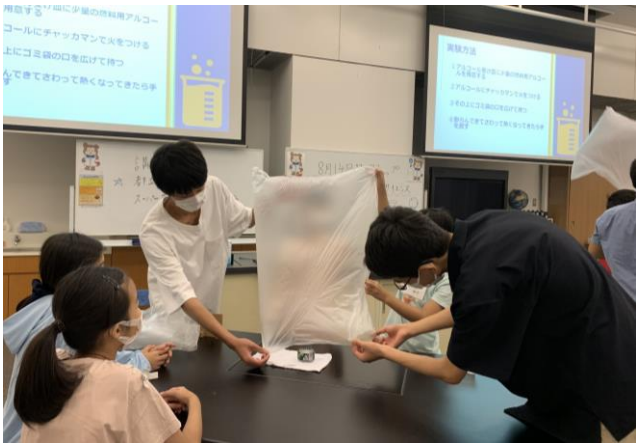
①OECD の事務局長たちとの集合写真

②ワークショップの様子
（楢葉町にある原発の作業の練習場）

③楢葉遠隔技術開発センター

～小学生向けの実験教室（渋谷区ハチラボ）～

熱気球の実験を行っています。



《実験教室を振り返って（戸山生の声）》

・最初おとなしい雰囲気でどうなるか心配でしたが、実験が始まるとみんな夢中になって楽しんでくれたのでよかったです。自分自身の勉強にもなりました。

・このワークショップを通じて、色々な人の意見を聞くことが出来たのが１番良かったです。同年代の人と意見を交わすことで、似たような悩みを持った人がいることが分かったし、自分とは違う悩みを抱えている人の話を聞くことで、新たな発見がありました。

～広尾病院での実習～

①ヘリポート見学

②救命センターの見学

③中心静脈カテーテル体験

～駒込病院へ訪問～

《参加した生徒の声》

●病院見学を通して、感染症科がさまざまなウイルスを扱っていることを知った。目に見える寄生虫から電子顕微鏡でやっと見えるようなウイルスまで、「多種多様で面白いよ」と医師から熱い話を聞けた。

●最初に寄生虫を見て強いインパクトを受け、こんなものが人間の体から出てくるのかと驚いた。

・本病院では訓練が二回行われていると知り、『想定と対策』がとても重要であると学びました。また、現場の医師が自ら行政と話し合いを行い、手を取り合いながら医療を支えている点に感銘を受けました。

●医師から言われた「私は高校の時は勉強が得意でなかった。けど今こうして医者として働けている。
だから人生どんな大逆転があるか分からないよ。」という言葉は、凄く印象的だった。

(写真)お医者様への質問

未来の日本、いや世界を背負って立つであろう戸山77期生たち！活躍に期待です。(担任一同)